

住民と町をつなぐ議会であるため。あなたの声が町を動かす。

大月町 議会だより

第115号

12月定例会

令和6年2月1日発行
高知県大月町議会

三十歳を祝う会
晴れの日 笑顔いっぱい



叶えたい夢

令和6年1月3日に「二十歳を祝う会」
44名が大人としての新たな門出を迎えました。

どんな
大人に？
なりたい？



祖父母や両親に
早く孫を見せてあげたい。

中田 吏矩



幸せな家庭を築く。

武田 海信

ハイスペックな大人になる。

吉尾 海光



僕
今日は
が主役よっ

医師になって
社会に貢献したい。

新留 敦大



大月町
二十歳を祝う会

誰よりも
幸せになる大人。

新谷 祥生



余裕のある大人。

伊与田 駿



やりたい
仕事は?

20歳に聞く

社会福祉士を目指す!

弘田 杏樹



情報系のエンジニアとして働き、人手不足解消に役立ちたい。

橋本 大悟



薬剤師を目指しています。お世話になった大月町に帰ってきて恩返しをしたい。

濱田 紋汰



介護福祉士になりたい!

井上 朱里



役に立てる看護師!

福留 恵海



カウンセラーになりたい!

中地 ふたば



◆定例会の概要

12月定例会は12月7日から12日まで開かれ、補正予算(専決)2件、条例14件、補正予算9件、人事案件2件、その他1件の合計28件が提出され、承認・可決した。

補正予算

会計名	補正額	補正後予算額
一般会計	1億7012万円	58億9051万円
特別養護老人ホーム	△255万円	3億5762万円
国民健康保険	3268万円	8億3931万円
水道	882万円	3億963万円
介護保険	6472万円	9億1699万円
漁業集落排水処理事業	334万円	9891万円
後期高齢者医療	21万円	1億231万円
給与等集中処理	562万円	9億224万円

◆主な補正内容

●一般会計

- ・宿毛市陸上競技場整備事業補助金の追加
- ・新たな管理型最終処分場の整備費負担金の増額
- ・価格高騰対策低所得世帯等支援給付金給付費(非課税世帯1世帯につき7万円の交付)
- ・住宅耐震改修等事業補助金の増額



◆補正に関する質疑

●災害対策費

問 住宅耐震関連事業が飛躍的に伸びているが、要因は。

答 建築士会に委託をし、地区説明会や戸別訪問を行い周知をした結果と思われます。

問 住宅耐震関連事業の実績件数と目標件数は。

答 令和5年11月末の時点での実績は、耐震設計19件、耐震工事19件、老朽住宅除却7件、家具転倒防止6件、ブロック塀除却6件の計43件です。

予算上の目標は、耐震診断65件、耐震設計50件、耐震工事48件、老朽住宅除却17件、家具転倒防止30件、ブロック塀除却35件です。

●支援給付金

問 1世帯7万円の給付日は。

答 現在事務処理及びシステム改修を行っており、年明けの見込みです。

●保険給付費

問 県内国保一本化について、保険料の増額による激変緩和分は基金を使うとし、黒字が出るようかさ上げをしていると聞いた。予算にある負担金の国保連合会分、窓口支援分にくらかさ上げ分が含まれているのか。

答 負担金は病院受診等に係る給付費であり、それ以外の要素は含まれていません。

12月定例会

条例改正

主な改正条例

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- ・地方税法等の一部改正により、産前産後期間に係る国保税の所得割額及び均等割額を減額する改正

●大月町印鑑条例の一部を改正する条例

- ・印鑑登録証明書の取得について、今後スマートフォンを用いたコンビニ交付を可能にするための改正

●大月町手数料条例の一部を改正する条例

- ・本籍地以外での戸籍謄本等の広域交付が可能となり、戸籍及び除籍の電子証明書提供用識別符号の発行事務が可能となることに伴う改正



人事案件

●人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

- ・久松 美智 氏 (弘見)
 - ・坂本 芳美 氏 (清王)
- 2名について、適任との意見を付した。

その他

●債権の放棄について

- ・平成2年10月1日付で償還の確約をした「大唐畜産環境整備資金損失補償代位弁済金」の債権について、これまでの経過等からみて収納困難と判断したため、議会の議決を得て債権を放棄する。

議案の議決内容

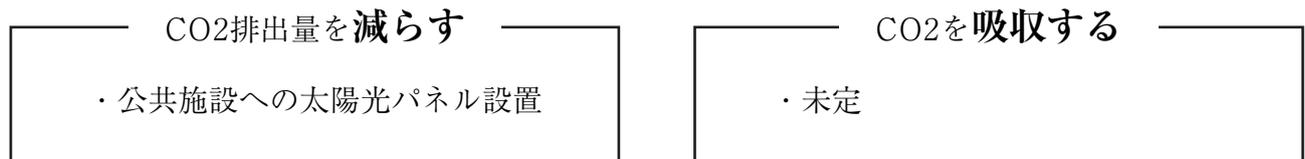
条 例	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ほか全14件	全員賛成
補正予算	一般会計・特別会計・病院会計	全員賛成
補正予算(専決)	一般会計・水道特別会計	全員承認
人事案件	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること(2名)	適 任
そ の 他	債権の放棄について	全員賛成

ゼロカーボンシティ宣言における再生可能エネルギーの活用方法

ゼロカーボンシティとは

CO2の排出量を抑えることに努めることと、抑えきれないCO2を吸収する森林を若年齢化することの両立を目指すことを言う。

大月町のゼロカーボンシティ関係施策



削減・吸収の両立が必要

木質バイオマス発電は…

- ・ 化石燃料よりもCO2発生量が少ない
- ・ 町内山林の若年齢化による環境保全効果
※若い木はCO2をより多く吸収する

CO2発生と吸収による
ゼロカーボン化の実現

- ・ 植林、間伐、伐採による林業の活性化
- ・ 発電関連事業での雇用創出
- ・ 災害時の町独自電力として活用

ゼロカーボン以外の
メリットも

木質バイオマス発電の導入によって、 様々な課題が解決すると思われる。

よって、

- ①地球温暖化対策実行計画を策定する上で、木質バイオマス発電の導入を検討すること。
 - ②公共施設に係る電気量について、木質バイオマス発電を用いた場合の費用対効果及び、FIT制度やJクレジット制度等を活用することにおける合理性を調査すること。
 - ③災害等における緊急事態の備えとなるよう、福祉施設等への有効な接続方法について調査すること。
- を提言した。

定数の検討

大月町議会では平成24年改選時に定数を12人から10人に減員して以来、10人体制で議会活動を行ってきた。前回の改正から10年以上が経過し、人口減少の只中である今が再検討の時期であると認識したため、検討を行うこととした。なお、今回の検討中に、地区長自治会からは「定数減の意見書」、橘浦地区からは「定数維持の陳情書」が提出されており、委員全員で内容を共有している。



県内で先んじて議員定数を8人に改正している三原村及び梶原町での意見聴取を行った。ただ、どちらの議会からも「8人に減らすことへの大きなメリット」は無いとの意見だった。また、委員会の活動方法についても「全員所属の常任委員会一本化」方式と「分野別の常任委員会複数」方式両方の意見を聞くことができた。

定数を減らした場合

- ・ 少人数になると効率的に意見をまとめることができる。
- ・ 議員報酬は交付税で措置されているため、町の財政削減にはつながらない。
- ・ 発言する人が少なくなり、質疑などの減少やチェック機能の低下が起こる。
- ・ 委員会活動が低調になる。



議会は「議決機関」として、「二元代表制」の役割を全うする必要がある。町長の議案を精査し、質疑・討論を重ねて慎重に議決を行う。議案の精査には多角的な視野が必要であり、一般質問においても議員個々が持つ思想や経験が豊かな政策論争を生むものと考ええる。

また、議決には議長を除く出席議員の半数の同意が必要だが、病気等で出席ができなかったため議決人数が減ることはあれど、元々の母数である議員定数を減らした場合、最大でも4人、場合によっては更に少ない人数で可決もしくは否決が可能となる。民意の反映という点において、安易な議員定数の減は「偏り」を生む可能性にも繋がり、先述した「二元代表制」の役割の全うも含め、現状の大月町における議員定数は「10人を維持」することが望ましいと結論付けた。

報酬の検討

子育て世代や女性が立候補しやすい環境を作るためには、報酬の見直しが必要であるとの意見があり調査を開始した。

全国町村議長会が発行する「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き」による原価方式を採用し、議会・議員の活動日数を積算することから始め、報酬の算定モデルを用いて適切な報酬を算定することで全員一致した。しかし、議員の任期が残り9か月と迫っていることから、改選後1年ないし2年間の活動日数の算定により報酬額を示し、町民と十分意見を交わすとともに、二元代表の一翼を担う議員の職務と職責を十分説明し見直しを図ることを申し送ることにした。

新IP告知端末

住民の利用促進を

説明会・窓口を設置／町長



久米 里志 議員



新しい告知端末機

問 新IP告知端末への切り替えを検討している75歳以上の対象者に10月から切り替えと聞いたが、切り替えへの状況及び、切り替えへの総額費用は。

区単位で12月より開始する予定です。総費用は1億1391万1050円となっています。

岡田町長 新IP告知端末の切り替え状況は、昨年度取り換えを行っていない2079世帯に対して意向調査から開始しています。スマートフォンを持たない世帯や居住地の特別な理由がある世帯など266件の取り換えを地

問 各地区で人口が減少し、高齢化が進み地区のコミュニティの持続が難しくなってきた。住民同士の安否確認や情報交換など大変貴重な告知端末だが、利用状況は。

岡田町長 利用状況は把握していません。

問 家庭訪問で利用状況を聞くと、利用している方はとても重宝し喜んでいますが、利用していない方が多い。皆様に喜んで利用していただくための対策は。

岡田町長 認知症予防アプリの実証実験として各種健康関連事業でアプリの説明や操作方法の指導を行っています。

すが、思うような実績が得られないのが現状です。次年度はスマートフォン教室や告知端末の説明会の開催、そして、電話や訪問によるサービス窓口を開設し、デジタル化の推進を考えています。

7万円の年内給付は 来年の2月上旬予定

問 総合経済対策の3つの還元策「減税十給付」還元の中の一つ住民税均等割非課税世帯に対し一世帯7万円の給付は、年内に担当課が心ひとつに全力で取り組んでも給付できないか。

岡田町長 予算は可決していますが、年内の給付は非常に困難です。事務作業が順調に進めば、来年の2月上旬になる予定で今作業をしています。

経済対策

これからの経済対策は 産業振興と消費拡大／町長



COSA (旧小才角小学校) でのイベント

問 高知県の市町村別の総生産と経済成長率、平成28年から令和2年度の統計データで大月の総生産・GDPは平成29年から令和元年度まではプラス成長だが、令和2年度は総生産が下がり経済成長率はマイナス13.7パーセント。令和3年度からの統計は分からないが、厳しい状況ではないか。これからの経済対策は。

岡田町長 本町の経済対策には、建設業・商業・観光業等を含め、新たな取り組みとして樫西園地のキャンプ場や小才角の長期滞在型複合施設などを軸に係人口の創出を図り地場産品の消費拡大に努め経済効果拡大に取り組んでいます。農業・漁業・林業が地域経済発展の重要な産業と考え農協・漁協そして森林組合等関係団体と連携し、生産性の向上に努めます。



依岡 一生 議員

障害者就労支援

農福連携の進捗状況は

協議会との連携を図り進める／町長



高知県が発行するパンフレット

問 農福連携の質問は今回3度目になる。幡多地域農福連携協議会が発足されたが、この協議会との協議がどこまで進んでいるのか。又、就労継続支援事業所がないのは幡多地域で大月町だけ。農業と福祉の連携プロジェクトのような組織を立ち上げる考えはないか。

岡田町長 障害者福祉では、社会参加を実現していく取り組みが望まれる中、就労支援や社会参画などを実現する有効手段であると認識しています。しかしながら、町としては現在まだ進んでいないのが現状ですが、可能性を探っていきます。連携プロジェクト組織は、団体と協議をする場を持ち、進めていきます。新谷健康福祉課長 農福連携には二つのタイプがあり、一つは就労継続支援事業所との農作業委託と、もう一つは農業者が障害をもつ方々を直接雇用するタイプです。大月町には就労継続支援事業所がないため、現時点では困難なことから進んでいないのが現状です。

産業振興

アトリ工棟の

使用計画・方針は

新規参入の

実現を目指す／町長

問 ふれあいパークにあるアトリ工棟は、令和4年度には1882万円予算計上し、サテライトオフィスとして活用するとの説明だった。この事業はどこまで進み、また、今後どのように展開していくのか。

岡田町長 2階、3階の部分で貸しオフィスとして利用できるよう改修工事を実施し、令和5年1月に完了しています。マッチング企画に参加をし、企業の誘致活動を行っているところです。今後の活動は、マッチング支援事業も視野に入れ、本町に新しい事業の参入を実現できるように取り組んでいきます。

ふれあいパーク

2階の空きスペースの活用は

レストラン必要／町長

問 旧レストランがあった所が、3年あまり空きスペースになっているが、今後どうしていくのか町長の考えは。

岡田町長 ふれあいパークの拠点に飲食がないのは非常に不便であり、解消しなくてはならないと考えているが、まだ後任が決まっていない状況です。再度募集要項を検討し進めていきます。



2階の旧レストラン

人づくり

若者が夢語れる場を
職場環境のあり方さぐる／町長



中田 巖 議員

問 未来ある若手職員が仕事において目標を立て、夢や事業提案を語る場を設けることでより意識を高めてはどうか。

岡田町長 夢を語れる場の設置については、ここで明言することはできませんが、私も公務員としての人材育成・民間意識を持ちながら新たな発想のできる、将来を語ることでいきたる職員を育てていきたいと思っております。

今後とも、町の将来を提案できる職員の育成、発言できる職場環境の在り方を探っていきます。



夢を語ろう

教職員の働き方改革

みな、忙しすぎるのでは

見直すべき／教育長

問 令和4年度小学校の授業時数実績をみると、国が定める標準授業時数を上回っているのが読み取れる。特に低学年にとっては、遊ぶ時間も様々な発見や体験をもたらす大切な時間であり、これらの経験が心身ともに健康に発達していくことと密接な関係にあると思うが、この実績は低学年の発達段階に合っていると思われるか。

伊与田教育長 大月小学校では校長が責任を持って教育課程を決めていきます。そして子どもの実態に沿ってやっていきます。

子ども達の内面的な成長が促される学活等が、今の標準時数では週に1時間しかありません。先生との信頼関係を一つづつしていくため、少しの余裕を持つことは、発達段階にそぐわないとは思いません。

問 全体的に見ても多いと思われるが、国の定める働き方改革に逆行していないか。教員の授業準備時間が勤務時間内に確保できているのか、また教員の残業時間は全体にどのような実態になっているのか。

伊与田教育長 少し余裕のある低学年以外は、休み時間の中では授業の準備はできないのではないかと思います。やはり時間外となっています。それは教師の与えられた使命であるとは思っていますが、その授業時数をこなすことで勤務外が全て増えてくるかと言ったら、そうは思っていません。



問 教職員の働き方改革という観点に加えて、子どもたちも本当に忙しいのではないかと、いうところが出発点。やはり行政と議会、そして大人たちが声を上げていくことが大事。責任放棄になってしまうのでは。

伊与田教育長 校長会や学校訪問において、「使命感だけで長く子どもと授業をしていいのか。使命感だけで今までやってきた。そして先生方は疲弊している。そして先生方が良かれと思ってるやうなことが、子どもたちにも負担となってきているのではありません、そこは見直すべき」と直接、先生方にもお願いをしたところでした。



浦木 秀雄 議員

こども基本法

こども議会定例化と予算化を

3年に1度開きます／教育長



こども議会 2022年

問 国は「こども基本法」を定め、こどもの意見表明権と市民としての権利の主体を認めた。大月町はどうするのか。また、こども議会を定例化し、こどもの提案に予算をつける考えはあるか。

岡田町長 こども議会の予算化は検討します。新谷健康福祉課長 「こども子育て支援事業計画」に「こども施策」を盛りこんで取り組んでいきます。

国保

国保税はあがるのか

県は増額の試算です／町長

問 国保は各市町村から県の運営になり、令和12年度に大月町の国保税が約1万円あがる予定。高額医療費も80万円から420万円未満は市町村の負担になる。健康、予防の取り組み、病院へのアクセスの違いも考慮されないとされているがこれは事実か。また、改善するよう県に要請するのか。

岡田町長 令和12年、県統一後の本町の国保税は、県の試算で増額となっことは承知しています。

来年度当初予算
最上位の具体的取り組みは

第7次総合計画です／町長

問 激変緩和については県に要請します。新谷健康福祉課長 高額の医療費については、80万円から420万円未満などの区分はありますが、国や県と市町村から集めた県全体のプール会計でまかないますので、今までと同じように住民負担となることはありません。

問 来年は、町長が見届けることができる最期の予算編成となる。来年度の最上位の具体的取り組みは何か。「ふれあい市」である直販所を、木造などで安価に建て替えてはどうか。

岡田町長 最上位の取り組みは、第7次大月町総合振興計画です。ふれあい市は、財政の都合がつけば、その場しのぎではなく、レストランつきで計画していきたいのが本音です。



ふれあい市

こんにちは

ナス栽培一筋55年



としお 谷岡 俊男 さん
みつこ 美津子 さん
としやす 利泰 さん

田城の園芸ハウスで、家族3人でナスを栽培している谷岡俊男さんを訪ねました。

ナス栽培のきっかけは

「昔のことになるけれど、18歳の時に6か月間農業実習を受け、4年くらいキユウリを作りよった。ある時、安芸市に住む親族の人からナス作りを勧められて始めたがよ。始めた頃はナスの色や形の選別はゆるく、高く売れる良き時代だった」と懐かしそうに話していた。始めは15アール、次第に面積を広げ、今では28アールに、奥さんと息子さんと3人で米ナスを作っているという。

特に印象に残っていることは

「それは西南豪雨災害やねえ。今まで順調に進んできたに、一晩中降り続いた大雨で園芸ハウスは天井近くまで水没、機械や資材、

栽培のこだわりは

ハウスの一部が流され、途方に暮れたけれど、農協やハウス部会の人たちの助けがあつて立ち直ることができた」と今でも皆さんには感謝していると話していた。

多くの人に安心して

食べてもらうため「天敵利用で、できるだけ農薬を使わないように作りよる」と収穫したばかりの紫色に輝くナスを見て力強く話してくれた。

コロナ禍の影響は

「コロナの3年間は、資材や肥料などみんな値上がりしたけれど、ナスは安いし、他の作物にしようかと思うた。近頃、ナスは少し値上がりしてきたけれど、暖房用の重油や生産資

材は高止まりして経営は厳しいまま。けれどこのまま終わることはできん。多くの人が手に取ってくれる柔らかかく旨いナスを作り、喜んで食べてもらうよう頑張る」と真剣な眼差しで語ってくれた。

(取材 安岡 邦彦)



家族で収穫中

編集後記

二十歳を祝う会は、若者たちが大人への一歩を踏み出す大切な日。親や親戚としてはお祝いの言葉とともに子供に対する思いや、激励の一言を伝えたいですよ。

先日、二十歳を祝う会に出席させていただきました。暗いニューズが多い中、艶やかな衣装に身を包み、久しぶりの同級生との再会に声を弾ませ楽しそうに会話をしている姿は、ほっとさせられる瞬間でした。この先、紆余曲折もあると思いますが、良い出会いに恵まれ、日々新たな発見と成長がありますことを、心より祈っています。

(野村 満久)

編集委員会

- 委員長 依岡 一生
- 副委員長 野村 満久
- 委員 中田 巖
- 委員 浦木 秀雄
- 委員 安岡 邦彦

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)733-1682

印刷
有限会社 宿毛印刷